



### 沖縄の土の性質 ～国頭マージとジャーガル～



前号に引き続き、土壌のお話です。下の表に、国頭マージとジャーガルの土性質や特徴をまとめてみました。

どちらも、沖縄の土壌の多くを占めており、古くからそれぞれの性質に合った利用のされ方があります。北部地域ではパイナップル畑やミカン畑をよく見かけるのに対して、島尻地域では、野菜や花の栽培をしている畑を見かけることが多いには、その土地の土の性質に関係しているわけです。

| 土    | 国頭マージ   | ジャーガル  |
|------|---|--|
| 土の性質 | 土はやせ、地力がなく、水はけも悪い。雨が降ると、バラバラになり、流れやすくなる。強い酸性を示す。  | 土は肥え、地力はあるが、水のしみこみが遅い。干ばつに見まわれやすく、弱いアルカリ性を示す。  |
| 特徴   | パイナップルやチャ、ミカンの栽培に適している。開発や大雨で、川や海に流れ込み、赤土汚染を引き起こすこともある。   | 野菜や花、サトウキビの栽培に適している。ねん土質で、クチャとも呼ばれる。雨で濡れるとぬるぬるし滑りやすい。乾くととても固い土。                                      |
| 土の様子 |  <p>流出する赤土</p> |  <p>灰色のジャーガル</p> |

これらの土の上に植物がしっかりと根を張り、土の流出を防いだり、根と土のすき間が保水する役割を果たしていますが、など、しかし近年、開発などで植物が伐採され、土が道路や海、川に流出してしまうことがあり、問題となっています。

(文責：玉村かおり)